



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

第76回コロイドおよび 界面化学討論会へのお誘い

はじめに

第76回コロイドおよび界面化学討論会は、9月22日(月)～25日(木)の日程で、千葉市稲毛区の千葉大学西千葉キャンパスにて開催の予定です。学会に参加するメリットは発表やその聴講だけでなく、廊下での立ち話、展示会場での最新機器との出会い、懇親会等での新たな人脈の開拓など、オンラインでしか享受できないことも多いです。本討論会では可能な範囲で発表のオンライン配信に努めますが、ぜひ、現地まで足を運んでいただければと願っています。

過去を辿ると、第51回(1998年)討論会を千葉大学西千葉キャンパスで実施しました。また、2010年には部会創立35周年記念大会として International Conference on Colloid and Surface Science を幕張メッセで開催しています。千葉大学最寄りの JR 西千葉駅までは東京駅から約50分、西千葉駅から大学入口まで徒歩2分と交通の便は非常に良いので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

主題:コロイド・界面科学と AI

AIの登場は私たちの日常を大きく変えつつあります。コロイド・界面科学に関連する研究開発は、理論分野と実験分野とが連携を取りながら発展してきましたが、AIは理論・実験双方の研究開発を

飛躍的に発展させる可能性を秘めています。ビッグデータを活用した新たな解析法、AIが導く新たな実験手法など可能性は未知数です。本討論会では、コロイド・界面科学分野とAIとの接点に焦点を当てた企画を計画しています。

討論会の概要

まず、討論会の中心となるアカデミックプログラムの概要を示します。多くの方は一般研究発表(口頭・ポスター)として以下のセッションに分かれて発表してもらうことになります。

1. 界面活性剤と両親媒性物質
2. 分子膜
3. ソフトマターとバイオシステム
4. 微粒子・ナノ粒子・ナノマテリアル
5. 分散・凝集
6. 固体表面と濡れ・吸着・接着

この中では科学奨励賞を受賞された山形大学准教授の吉田一也氏および技術奨励賞を受賞された株式会社資生堂研究員の福原隆志氏による講演も予定しています。また、例年どおり、学生を含む若手の発表にはポスター賞や若手口頭講演賞を設けます。一方、一般シンポジウムでは個々のテーマに即した半日の企画を実施する予定です。4日目の9月25日(木)は終日国際シンポジウムを開催します。

2日目の9月23日(火)の午後には、オークラ千葉ホテルにて総合講演および

Lectureship Awardを受賞されたシドニー大学教授の Gregory Goodman Warr 氏(オーストラリア)およびダルムシュタット工科大学教授の Regine von Klitzing 氏(ドイツ)による講演を予定しています。今年は部会創立50周年となることから、例年とは異なる企画も検討中です。一般シンポジウムや2日目午後の詳細は決まり次第、部会のホームページでご案内申し上げます。

このほか、毎年人気を博している各種イベントも実施予定です。「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」を9月21日(日)に、若手が将来を考える「キャリア探セッション」を9月22日(月)に実施予定です。こちらも詳細が決まり次第、ホームページでご案内します。

おわりに

口頭発表申込および要旨の締切は6月6日(金)、ポスター発表申込および要旨の締切は6月27日(金)です。部会員に限らず、日本化学会の会員または協賛・後援学協会の会員の方は発表可能です。また、広告・展示等にご協力いただける企業も募集中です。詳細は下記の部会ホームページをご確認下さい。

<https://colloid.csj.jp>

〔第76回実行委員長 加納博文(千葉大学)、
討論会委員長 大久保貴広(岡山大学)〕

© 2025 The Chemical Society of Japan